

科目分類	専門基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	解剖生理学Ⅱ (生理学)	学 期	前期	橋本道男 (島根大医学部・客員教授)
		単 位 数	2	
		時 間 数	60	
目 的 (ねらい)	看護の対象である人間を理解するための基礎知識となる機能(働き)について学ぶ。			
目 標	1. 人体の構成要素(細胞、組織、器官、器官系)の固有の働きについて理解する。 2. 人体の構成要素の相互作用について理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態/すべて講義
	1	生理学とは	1) 細胞の構造と生理機能、血液、血液の一般的性質	
	2	血液、体液	2) 血液の一般的性質(血小板、血漿蛋白)、血液凝固機序、血液型、体組成、酸・塩基平衡、体液の移動の原理、リンパ液	
	3	循環器系	3) 循環、循環の概念、大循環・小循環、心臓の構造、刺激伝導系、心臓の周期性、心機能調節系	
	4	血圧、特殊循環	4) 血管、血圧、血圧調節系、特殊循環(冠、脳、肺、胎児)	
	5	呼吸器系	5) 呼吸、呼吸の概念、内・外呼吸、呼吸器、呼吸運動	
	6	呼吸器系	6) 呼吸調節系、呼吸困難、消化吸收の概念	
	7	消化器系	7) 消化液の分泌、小腸での消化、吸収(小腸、大腸)、消化管の運動、排便	
	8	代謝系	8) エネルギー代謝、体熱の産生・放散、体温調節系	
	9	泌尿器系	9) 腎臓の概念、尿の生成機構、クリアランス、浸透圧と細胞外液の調節、 排尿	
	10	内分泌系	10) 内分泌(ビデオ映写)、内分泌の概念、視床下部・下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン	
	11	内分泌系	11) カルシウム代謝関連ホルモン、副腎ホルモン、膵臓ホルモン、その他	
	12	生殖器系	12) 男性生殖、女性生殖(卵巣周期)、女性生殖(子宮周期)、妊娠、分娩	
	13	神経系	13) 神経の一般的性質(活動電位、シナプス)末梢神経(ビデオ映写)、反射、自律神経系、中枢神経系(ビデオ映写)	
	14	中枢機能	14) 中枢機能(覚醒・睡眠、記憶・学習)、脳脊髄液、運動系	
	15	感覚系	15) 体性、内臓、平衡、味覚、嗅覚、聴覚、視覚	
教 科 書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① (医学書院)			
参 考 文 献	「人体の構造と機能」エレイン・N. マリープ著、(医学書院) 「看護生理学テキスト」深井喜代子、他著、(南江堂) 「看護のための人体機能入門」菱沼典子著、(メジカルフレンド社)			
評 価 方 法	4回に分けて定期試験(100点×4)を行う。4回の平均点を最終評価とする。			
関 連 科 目	解剖生理学Ⅰ			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	「看護から見た生理学」「ナースが視る人体」(いずれも講談社)を参考にして、講義で得た知識を「ナースから視る病気」(講談社)に応用する。			
そ の 他 の 通 知 事 項	質問がある場合は、(1)講義中に質問、(2)配布する質問票に記入、(3)講義終了時には講師控え室、(4)E-mail:michio1@med.shimane-u.ac.jpにより受け付けます。			